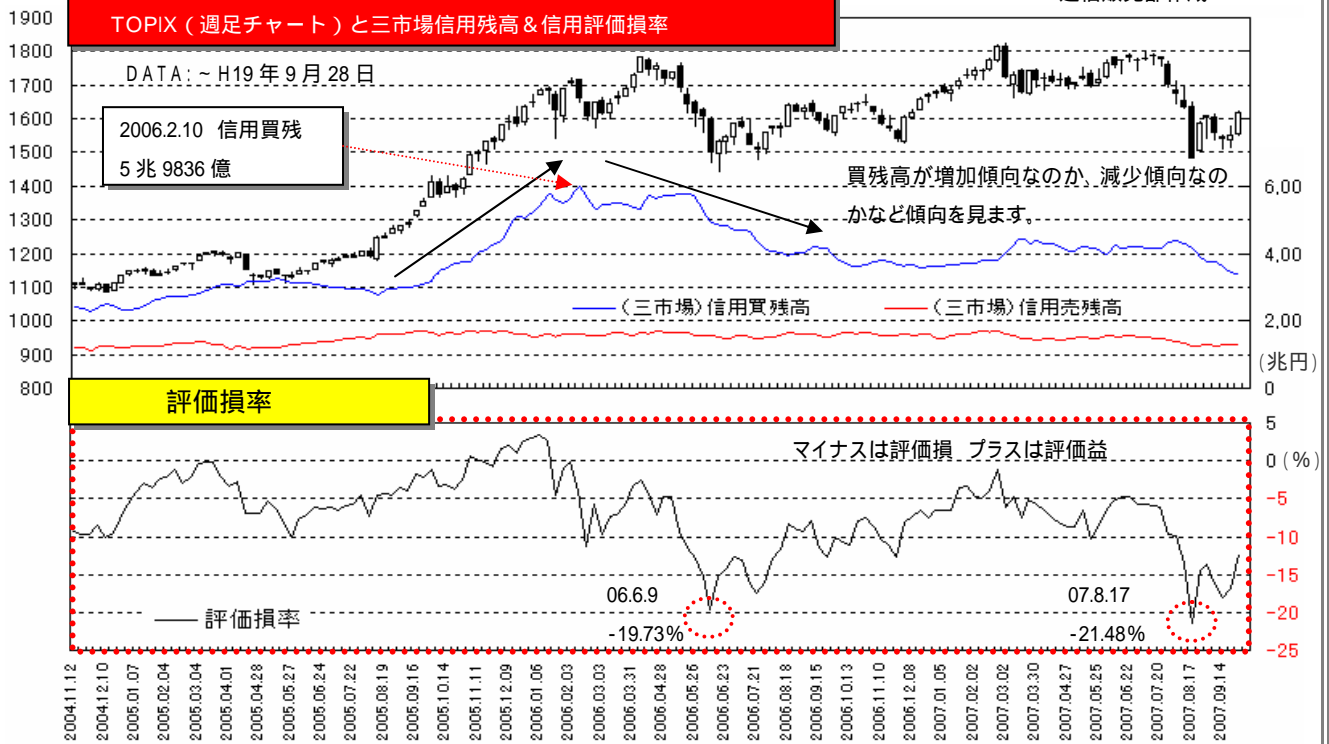




三市場信用残高 & 信用評価損率

通信販売部作成



「三市場信用残高」～「三市場信用残高」とは、東京・大阪・名古屋の三市場における信用取引残高を集計したものです。「三市場信用残高」は、原則として週末現在の残高を翌週の火曜日(第2営業日)の立会い終了後、東証より速報値が発表されます。

【信用残高 基本的な考え方】買残高が増加傾向なのか、減少傾向なのかなど傾向を見ます。

- ・ 上昇トレンドにおける買残高増加は強気～積極的な新規買いの資金流入による買残高の増加。
- ・ 上昇トレンドにおける買残高減少は弱気～新たな買い勢力より、それまでの買い方の逃げが大きい。
- ・ 下降トレンドにおける買残高増加は弱気～押し目買いを入れてもなお、売り圧力が強い。
- ・ 下降トレンドにおける買残高減少は強気～投売りなどによる買残高の減少。一巡後は自立反発が期待。

高値圏での非常に大きな買残高は危険であり、下方圧力を強める可能性があるため注意が必要です。

マルサントレードでは、ログイン後、左にある「信用取引情報」の下向き ボタンから「三市場信用残」を選択しますと三市場信用残高を見られます(原則水曜の17時に速報値を更新)。

「信用評価損率」～信用評価損率は信用取引で株を買った投資家の評価損の割合を示す数値です。諸経費などのコスト分に加え、投資家は利益が乗るとすぐに返済し、損失は返済を引き伸ばそうとする傾向があるため、通常この数値はマイナス(評価損)になります。

大きな下落局面では評価損の拡大とともに追加保証金(追証)が発生します。評価損率は昨年 - 19.73%でボトムとなり、今年は8月17日の週の - 21.48%がボトムとなり、その後反転している状況にあります。

評価損率はマルサントレードの「日経テレコン 21」にて、通常水曜日の夕刻に確認できます。文書による文字情報となります。

金融商品取引法に基づく重要な注意事項

〔当社の概要〕 商号等：丸三証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号
加入協会：日本証券業協会

〔手数料等の概要〕

上場有価証券等に関する手数料等の概要

- ・「一日コース」による株式の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.084% (30万円以下の場合 252円) の委託手数料をいただきます。
- ・「銘柄コース」による株式の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.105% (20万円以下の場合 210円) の委託手数料をいただきます。
- ・「夜間取引」による株式の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.105% (100万円以下の場合 1050円) の委託手数料をいただきます。
- ・上場有価証券等のうち転換社債型新株予約権付社債(CB) の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.105% (100万円以下の場合 1050円) の委託手数料をいただきます。
- ・株式を募集・売出し等により取得する場合は、購入対価のみのお支払となります。
- ・信用取引により株式等を売買する場合は、上記委託手数料とは別に、委託保証金として売買代金の 40% 以上かつ 30万円以上の預託が必要となります。その他に管理費及び権利処理費等をいただきます。また新規買付の場合、買付代金に対する金利を、新規売付の場合、売付株券等に対する貸株料及び品貸料をいただきます。

投資信託に関する手数料等の概要

- ・投資信託の購入等にあたりお客様にご負担いただく費用として、申込手数料(申込時に直接ご負担いただく費用)、信託財産留保金(換金時に直接ご負担いただく費用)、信託報酬(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)などがあります。
- ・これらの費用は商品毎に異なりますので、詳細は各商品の目論見書又は当社ホームページの各商品ページをご確認ください。

〔リスクについて〕

上場有価証券等に関するリスク

- ・株価の変動等により損失が生じる恐れがあります。外国株式は、為替相場の変動等により損失が生じる恐れがあります。
- ・転換社債型新株予約権付社債(CB)は価格の変動等により損失が生じる恐れがあります。また権利行使できる期間や条件に制限があります。
- ・信用取引では委託保証金の額に対して最大 2.5 倍の投資が可能です。したがって信用取引においては損失の額が預託した委託保証金の額を上回る可能性があり、投資元本以上の損失が生じる恐れがあります。

投資信託に関するリスク

- ・主な投資対象が国内株式である投資信託の基準価額は、組み入れた株式の値動きにより上下しますので、これにより投資元本を割り込む恐れがあります。
- ・主な投資対象が円建て公社債である投資信託の基準価額は、金利の変動等による組み入れ債券の値動きにより上下しますので、これにより元本を割り込む恐れがあります。
- ・主な投資対象が株式・一般債にわたっており、且つ、円建・外貨建の両方にわたっている投資信託の基準価額は、組み入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込む恐れがあります。
- ・これらのリスクは商品毎に異なりますので、詳細は各商品の目論見書又は当社ホームページの各商品ページをご覧ください。

〔契約締結前交付書面等について〕

各商品等のご購入のお申込にあたりましては、当社より所定の契約締結前交付書面(投資信託においては目論見書及び目論見書補完書面)を交付いたします。書面をよくお読みいただき内容を十分にご理解いただいたうえでお申込いただきますようお願いいたします。